

情報コミュニケーション学会 第20回全国大会プログラム

2023年3月11日(土)・3月12日(日)
青山学院大学相模原キャンパス

主催 情報コミュニケーション学会
協賛 青山学院大学社会情報学部

情報コミュニケーション学会 第 20 回全国大会を迎えて

情報コミュニケーション学会第 20 回全国大会実行委員会 委員長
青山学院大学 寺尾 敦

第 20 回全国大会へようこそ。

情報コミュニケーション学会の全国大会は、第 17 回大会から第 19 回大会までがオンライン開催となり、今大会は 4 大会ぶりに対面開催となります。第 18 回大会と第 19 回大会は青山学院大学相模原キャンパスで開催予定でしたが、オンライン開催に変更せざるを得ませんでした。施設担当部署より新型コロナ感染対策は確実にを行うよう指示されており、2019 年以前とまったく同じではありませんが、久しぶりの対面交流をお楽しみいただけたと思います。

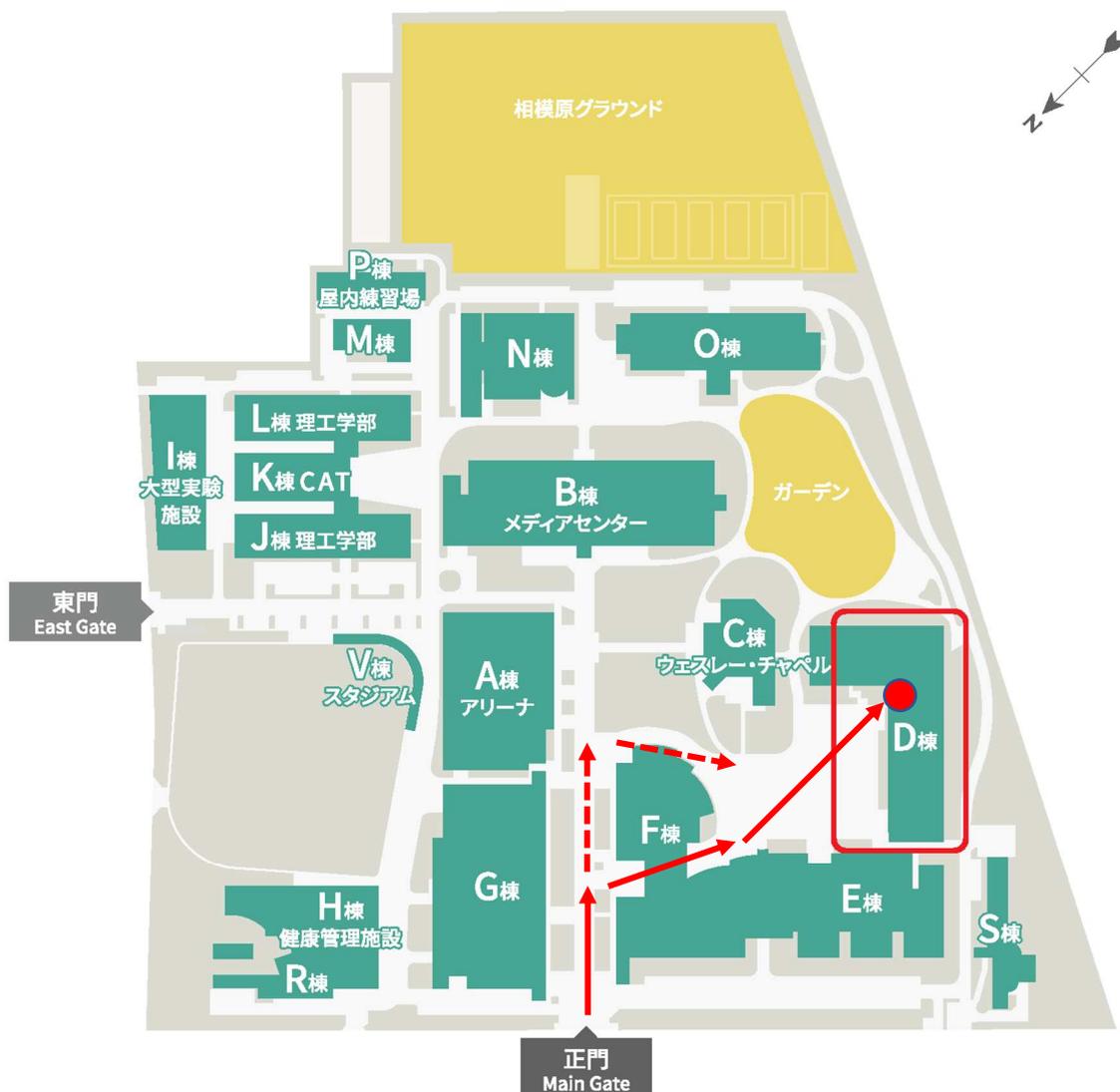
大会会場と日程の決定が遅くなってしまい、ご心配をおかけしたことをお詫び申し上げます。研究発表募集のお知らせも遅くなってしまったため、短い期間で発表論文をご執筆いただくことになってしまいました。発表件数が 21 件と少なくなってしまった原因のひとつかもしれません。

特別公演は明治大学の阪井和男先生にお願いすることができました。阪井先生は今年度で明治大学をご退職されるとのことでした。会長を長く務められるなど、情報コミュニケーション学会に多大な貢献をしていただいた先生に、ここで「ひと区切り」の講義を行っていただきます。「最終講義」ではなく、これからも当学会とお付き合いいただけることを願っております。

今大会では、おそらく当学会では初めて、チュートリアルを企画しました。統計的仮説検定の中で使用頻度の高い、2 つの平均値の差の検定について、統計学の理論と、研究での使用（実際の分析と論文での報告）についてお話ししたいと思います。教科書的な内容だけでなく、議論となる内容も含まれますので、エキスパートの方にも是非ご参加いただきたいと思います。

それでは、2 日間の大会をお楽しみください。

青山学院大学相模原キャンパス キャンパスマップ



上図ではE棟のように見えますが、正門を入れてすぐ右の建物はF棟です。F棟は2階部分がつながった2つの建物のようにになっています。

つながった2階部分の下をくぐり、チャペルが左手に見える広場を左斜め方向に進みます。上図の赤丸の位置にD棟の入口があります。

春休みで、キャンパスではいくつかの工事が行われています。F棟2階部分の下をくぐる道がふさがっている場合は、F棟を通り越して回り込んでください。上図での点線の矢印で示したコースです。

情報コミュニケーション学会第20回全国大会 日程表

第一日目 2023年3月11日(土)

時刻	イベント	
13:00-13:15	<p>オープニングセッション 開会挨拶</p> <p>会場 D107 教室</p>	
13:20-14:50	<p>一般研究発表 セッション1</p>	
	<p>1A AI・システム構築</p> <p>会場 D105</p> <p>座長 岩井憲一(滋賀大学) 小田桐 良一(園田学園女子大学)</p>	<p>1B 行政・地域</p> <p>会場 D106</p> <p>座長 中嶋 克成(周南公立大学) 本田 正美(関東学院大学)</p>
15:00-16:00	<p>特別講演</p> <p>会場 D107</p> <p>「自主性」の機能と逆機能 阪井 和男(明治大学)</p>	

情報コミュニケーション学会第20回全国大会 日程表

第二日目 2023年3月12日(日)

時刻	イベント	
10:00-11:10	一般研究発表 セッション2	
	2A 心理 会場 D105 座長 藤本 光司 (芦屋大学大学院) 丹羽 量久 (長崎大学)	2B ネットワーク・コミュニケーション 会場 D106 座長 田代 光輝 (中央大学) 吉見 憲二 (成蹊大学)
11:20-12:20	総会 会場 D107	
12:20-13:00	休憩	
13:00-14:00	チュートリアル	
	会場 D107 平均値の差の検定—理論と使用を見直す— 寺尾敦 (青山学院大学)	
14:10-15:40	一般研究発表 セッション3	
	3A キャリア教育 会場 D105 座長 永谷 研一 (長崎大学) 庄司 一也 (帝京平成大学)	3B 大学教育 会場 D106 座長 杉田 このみ (専修大学) 阿部 一晴 (京都光華女子大学)
15:50-16:10	クロージングセッション 閉会挨拶	

一般研究発表 1

3月11日（土）13時20分～14時50分

番号横に ** が付されているのは学部生、* が付されているのは大学院生の発表です。
それぞれの発表は、発表15分、質疑応答5分です。

一般研究発表 1A AI・システム構築

会場 D105 教室

座長 岩井 憲一（滋賀大学）・小田桐 良一（園田学園女子大学）

1A-1 ノンコーディング機械学習プラットフォーム H2O を利用した Q&A システムの提案

岩井 憲一（滋賀大学）・吉見 憲二（成蹊大学）・針尾 大嗣（摂南大学）・
谷本 和也（佛教大学）・上田 祥二（セールスフォースドットコム）・
田中 康裕（社会データ構造化センター）

1A-2 ネット上の著作権侵害を通報する「IP サイバーパトロール」の仕組みづくり

野田 佳邦（大分県立芸術文化短期大学）

1A-3 AI じゃんけんゲームのための手部検出モデル導入の検討

小田桐 良一（園田学園女子大学）・鴨谷 真知子（Cross Media +Design）

1A-4** 献立における選択のストレスを軽減するレシピ検索システム

工藤 亜美（青山学院大学）・宮治 裕（青山学院大学）

一般研究発表 1B 行政・地域

会場 D106 教室

座長 中嶋 克成（周南公立大学）・本田 正美（関東学院大学）

1B-1 日本の地方自治における住民発案の現状と住民投票制度の検討

武蔵 勝宏（同志社大学）

1B-2 温泉で学ぶ新観光プログラム「温泉知サロン」の実践

—令和4年度 新・湯治の効果に関するコンテンツモデル調査として—

中嶋 克成（周南公立大学）・寺田 篤史（周南公立大学）・鏡 裕行（周南公立大学）

1B-3 府省等におけるウェブアクセシビリティに関わる年次試験結果の更新状況

本田 正美（関東学院大学）

一般研究発表 2

3月12日(日) 10時00分～11時10分

番号横に ** が付されているのは学部生、* が付されているのは大学院生の発表です。
それぞれの発表は、発表15分、質疑応答5分です。

一般研究発表 2A 心理

会場 D105 教室

座長 藤本 光司 (芦屋大学大学院)・丹羽 量久 (長崎大学)

2A-1* 技能実習生の日本語学習の内発的動機づけに関する研究

—ミャンマー人技能実習生に対する調査と分析—

本田 航平 (芦屋大学大学院)・藤本 光司 (芦屋大学大学院)

2A-2* 日本人の相互独立・相互協調的人物に対する選好

—課題の貢献量に着目した検討—

比留間 圭輔 (青山学院大学大学院)・井上 裕香子 (高知工科大学)・

松本 良恵 (西南学院大学)・清成 透子 (青山学院大学)

2A-3 MAI 短縮版 20 項目による短期間 2 回調査における回答差の傾向

丹羽 量久 (長崎大学)・山地 弘起 (大学入試センター)

一般研究発表 2B ネットワーク・コミュニケーション

会場 D106 教室

座長 田代 光輝 (中央大学)・吉見 憲二 (成蹊大学)

2B-1** Web ブックマーク数による重みづけに基づく観光ルートの近似最適化

廣川 瑞季 (専修大学)・安藤 映 (専修大学)・小田切 健太 (専修大学)

2B-2 神奈川県における未成年のネットリスク調査と要因分析

— 神奈川県の高校生への 2019 年度アンケート調査より —

田代 光輝 (中央大学)・小松 正 (多摩大学情報社会学研究所)・

浅子 秀樹 (一般財団法人 LINE みらい財団)

2B-3 効果を踏まえた口コミ評価の着眼点に関する一考察

— ダイエットサプリメントを題材として —

吉見 憲二 (成蹊大学)

一般研究発表3

3月12日(日) 14時10分～15時40分

番号横に ** が付されているのは学部生、* が付されているのは大学院生の発表

一般研究発表 3A キャリア教育

会場 D105 教室

座長 永谷 研一 (長崎大学)・庄司 一也 (帝京平成大学)

3A-1* 高等学校家庭科の新しい単元「金融教育」に関する研究 (1)
教材開発と授業実践の計画について

西川 美樹 (芦屋大学大学院)・藤本 光司 (芦屋大学大学院)

3A-2 できたことの振り返りの習慣化が与える自己効力感への影響度
—「できたことノート」実践の効果測定—

永谷 研一 (長崎大学)

3A-3 未熟練ファシリテーターのための研修支援システムに関する研究

栢木 紀哉 (龍谷大学)・富岡 直美 (四国大学)

3A-4 企業・団体・大学の連携と情報共有による学生の気づきを促すキャリア教育の実践

庄司 一也 (帝京平成大学)

一般研究発表 3B 大学教育

会場 D106 教室

座長 杉田 このみ（専修大学）・阿部 一晴（京都光華女子大学）

3B-1 大学のプレゼンテーション教育における個別指導法の組み込みの研究（4）
—GPDS 把握シートを用いた気持ちの推移の把握—

中谷 陽仁（大阪商業大学）・佐藤 敦子（大阪商業大学）・
正木 幸子（大阪商業大学）・横山 宏（大阪電気通信大学）

3B-2 大学生の創作・表現活動の教育指導を通じた学修効果について

杉田 このみ（専修大学）

3B-3 倍速消費の価値観がオンライン授業に与える弊害と課題

柴田 怜（国士舘大学）

3B-4 本学における学生の PC 所有・利用動向調査と BYOD についての考察

阿部 一晴（京都光華女子大学）・酒井 浩二（京都光華女子大学）

情報コミュニケーション学会 会員募集のお知らせ

情報コミュニケーション学会（Japan Association for Communication Information and Society）は情報通信ネットワークやコンピュータなどにより高度に情報化された社会におけるコミュニケーションについて学際的に研究することを目的とし平成16年2月28日に設立されました。本学会は日本学術会議協力学術研究団体に指定されています。

情報コミュニケーション学会 設立趣意書

近年、世界的な規模でのグローバル化・情報化は、私たちの社会生活やライフスタイルに大きな変化を与えています。高度に発達した情報環境の中で、時間や距離を超え、さまざまな人種、文化、宗教、価値観などをもった人々が共存する豊かな共生社会の創造が望まれます。このような中、「情報コミュニケーション学会」は、情報通信ネットワークやコンピュータなどにより高度に情報化された社会におけるコミュニケーションについて、学際的に研究することを目的としております。コミュニケーションは、人と人、人と集団、集団と集団の間で生まれます。そこでの情報機器を介したコミュニケーションの働きや社会的役割、問題点などを解きほぐし、情報の収集・処理・発信・伝達など目的を持った主体的なコミュニケーションについても、研究していきたいと考えています。これらの取り組みにより、情報コミュニケーションという概念が、ひとつの新しい分野として確立できることを願っています。また、教育の現場においては、小学校からさまざまな場面でコンピュータが活用され、高等学校では情報を体系的に学ぶために教科情報が設置・実施されるようになりました。学校では先生方の熱心な取り組みにより、試行錯誤を繰り返し、悩みながら、問題を一つひとつ解決しているのが実情です。そこで、本学会は、情報コミュニケーションに関心のある小学校・中学校・高等学校・大学の教員が中心となり、情報交換・交流の場としての役割を果たし、実践的な研究をとおしてよい教育をおこなうための原動力になることも願っています。情報コミュニケーション学会については、平成15年2月8日、80名の賛同者を得て設立準備会を実施し、平成16年2月28日の設立総会で正式に発足の運びとなりました。情報コミュニケーション学会設立の趣旨に賛同いただき、多くの皆様にご入会いただきますようお願い申し上げます。

入会申込書ダウンロード URL

<http://www.cis.gr.jp/nyuukai.html>

参考:2023年度の会費等

- ・ 入会金 1,000 円
- ・ 年会費（正会員） 7,000 円
（但し、幼・小・中・高校教員および教育委員会などの関係者は特別割引制度適応で 3,000 円）
- ・ 年会費（学生会員：学部学生） 1,000 円

情報コミュニケーション学会第20回全国大会実行委員会

(敬称略 五十音順)

大会実行委員長

寺尾 敦 (青山学院大学)

大会実行委員

南部 和香 (青山学院大学)

吉田 葵 (青山学院大学)

情報コミュニケーション学会第20回全国大会プログラム

発行日：2023年3月11日

発行者：情報コミュニケーション学会

事務局：〒661-8520 兵庫県尼崎市南塚口町7丁目29-1

園田学園女子大学 情報教育センター

E-mail：cis@sonoda-u.ac.jp

URL：<http://www.cis.gr.jp/>